

2025 年 12 月 2 日

カナダ・マニトバ州における e-メタン事業開発プロジェクトを テラルタ社と共同推進

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、このたび、カナダにおいて e-methane(以下「e-メタン」)事業開発を推進している Teralta Hydrogen Solutions Inc.（以下「テラルタ社」）と、カナダ・マニトバ州における e-メタン事業の開発プロジェクト（以下「本プロジェクト」）に関する合意書を締結し、今後、共同して本プロジェクトを推進していきます。

本プロジェクトは、カナダ・マニトバ州ブランドンにおいて、水力発電由来の電力に基づく副生グリーン水素^{*1}を利用する予定です。2030 年度までに年間約 3 万トンの e-メタンを製造し、日本向けに輸出することを目指します。

東京ガスは、e-メタンとバイオメタン（RNG）をあわせて、2030 年度時点でガス小売供給量の 1%相当、2040 年までにその 10 倍以上導入する目標を掲げています。テラルタ社との連携を通じ、日本政府が掲げる「2050 年カーボンニュートラル」の実現に貢献していきます。

○Teralta Hydrogen Solutions Inc. CEO Simon Pickup のメッセージ

東京ガスとともに、競争力のある e-メタンの実現に向けて、共同開発できることを大変心強く感じています。当社のビジネスモデルの中核には実績ある技術と多くの運用経験に基づく革新的な“TERAscale”があり、これにより低価格な水素供給を可能にします。加えて、既存のインフラを活用することにより、効率良くかつ低炭素な e-メタンを日本に向けて供給する道を切り拓いていきます。

○東京ガス株式会社 代表執行役副社長 CTO 木本 憲太郎のメッセージ

このたび、カナダにおいて副生グリーン水素を用いた e-メタンプロジェクトを推進しているテラルタ社と合意に至り、本プロジェクトを共同開発できることを嬉しく思います。本取り組みを通じて、当社が目指すカーボンニュートラル社会の実現とエネルギーの安定供給の両立を着実に進めてまいります。

■プロジェクト概要

場所	カナダ・マニトバ州ブランドン
数量	約 30,000 トン/年 (プロジェクトで製造する e-メタン全量を日本に輸出予定)
スケジュール	最終投資決定 (FID) : 2026 年度から 2027 年度前半を想定 運転開始日 (COD) : 2030 年度内を想定
原材料	カナダの豊富な水力発電由来の電力に基づく副生グリーン水素と、工業由来 CO ₂ の利用を想定

■テラルタ社概要

社名	Teralta Hydrogen Solutions Inc.
代表者名	Simon Pickup
設立	2021 年
本社所在地	カナダ・ブリティッシュコロンビア州 バーナビー
事業内容	e-メタンプロジェクト開発事業

■東京ガス概要

社名	東京ガス株式会社
代表者名	笹山 晋一
設立	1885 年
本社所在地	東京都港区海岸 1-5-20
事業内容	エネルギー・ソリューション事業、ネットワーク事業、海外事業、都市ビジネス事業（不動産開発）

*1：水力由来の電力を利用した漂白剤の製造プロセスにおける副産物

<参考>プロジェクト所在地



以上